

自立支援協議会 相談支援部会

2010.11.16

活動報告（7月～11月）及び活動予定

1. 全体会及び各グループ活動について

(1) 全体の活動

第3回、第4回の部会活動（施設見学・情報交換）毎に、Aグループよりアンケートを実施し、9月10日（第5回）に課題検討会を開催した。11月16日の第2回自立支援協議会へ課題を提出し、検討してもらう予定。

また、今年もGH世話人会の協力を得て、9月13日～26日まで見学会を実施した。

（見学先 GH 11ヶ所 見学者のべ人数 34名）今年度は2回目の実施のため、昨年度よりさらに内容を深めるため、GHの世話人にあらかじめ見学の目的を伝え、迎える世話人も説明の準備をして臨んでくれたようである。見学後に、10月7日（第6回）のグループホーム等世話人会に参加、アンケートをBグループで集約し、12月10日（第7回）の課題検討会に提案する予定。

1月14日（第8回）にケア24との交流会（杉並保健所 地下講堂）が決定。これも今年は2回目の開催である。ケア24のブロック幹事さんとCグループで、内容を検討し、昨年度同様事例を基に、障害者自立支援法から介護保険移行のポイントや支援のあり方について、グループ討議をする予定である。

(2) グループ（学齢児の家庭、GH、高齢障害者の支援について）の活動

グループメンバーは、部会員だけではなく、ワーキングメンバーも加わり、それぞれ3～4回、必要な時期にグループ活動が行われ、少人数で活発な話し合いを展開している。見学や交流会の準備、アンケート実施・集約、課題の検討などの作業を役割分担で行っている。事業所を超えたメンバーによる共同作業の中で、お互いの理解を深め、資源の情報や支援方法等の意見交換や情報の共有は、今後の連携をスムーズにすると考える。

2. 相談支援事業所の地域の役割について

今年度は見学や話し合いからスタートし、情報を集め、それぞれの課題を検討してきた。第3回自立支援協議会へも集めてきた情報や課題を提出する予定である。課題は見え始めてきたところだが、地域から、相談支援事業所に期待されていることを確認したい。

相談支援事業所は一つ一つが規模が小さな事業所であるため、ニーズをみながら、優先順位をつけつつ支援を行っている。しかし、学齢期の児童を持つ家庭について、できる限りの支援は行いたいと考える。相談支援事業所の役割はどうあるべきか、委員の方のそれぞれの見地からのご意見・ご提案をお願い致します。

相談支援部会長 春山 陽子